

岡山大病院の

脳死肺移植終了

岡山大病院（岡山市北区鹿田町）で18日夕に始まった40代男性への脳死肺移植手術は、約6時間後の同日午後11時27分、無事終了した。順調なら約3カ月で退院できるといふ。

大藤剛宏肺移植チームの

執刀で右の肺を移植。男性は気管支が細くなり呼吸困難になる閉塞性細気管支炎

を患い、2012年11月、日本臓器移植ネットワークに登録していた。

ネットワークによると、

ドナー（臓器提供者）は北

海道大病院に低酸素性脳症で入院していた20代男性だった。

岡山大病院の脳死肺移植は62例目、生体と合わせて

139例目。